



議会だより 忠岡

第28号
令和7年5月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎ 0725-22-1122(代)



満開のさつき

次回の議会日程(令和7年第2回定例会)

令和7年第2回定例会日程は町長選挙、町議会議員補欠選挙(令和7年5月18日執行)のため未定となっております。日程が決まり次第、町ホームページでお知らせいたします。

もくじ

3月議会の議案審議状況	2ページ
総務事業常任委員会・福祉文教常任委員会報告	5ページ
一般質問(今奈良幸子・二家本英生)	6ページ
一般質問(尾崎孝子・三宅良矢)	7ページ
一般質問(松井匡仁・前川和也)	8ページ
一般質問(河野隆子・小島みゆき)	9ページ
一般質問(河瀬成利)、予算審査特別委員会報告	10ページ
ペーパーレス会議システム導入について	13ページ
総務事業常任委員会視察報告	14ページ
ごみ処理施設調査特別委員会報告、南部地区議長会視察報告	15ページ
各種報告・編集後記	16ページ

3月議会の議案審議状況

3月議会の議案審議状況・意見書一覧

令和7年 第1回定例会 提出案件

議案番号	件 名	議 案 内 容	議決結果	所管委員会*
報告 第1号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めること及び和解について)	シビックセンター南館のスロープにある点検口が閉められておらず、それが原因で児童が負傷。賠償額9,840円で和解。	報告 全会一致	—
議 案 第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度忠岡町一般会計補正予算 (第8号))	物価高騰対策として、住民税非課税世帯に給付。 (1世帯3万円、こども1人あたり2万円追加)	承認 全会一致	—
議 案 第2号	忠岡町監査委員の選任について	前田成弘氏を継続して選任。(6期目) (令和7年6月1日～令和11年5月31日)	同意 全会一致	—
議 案 第3号	忠岡町教育長の任命について	令和6年度不在であった教育長に大塚孝氏を選任。 (令和7年4月1日～令和10年3月31日)	同意 全会一致	—
議 案 第4号	刑法等の一部を改正する法律 の施行に伴う関係条例の整理 に関する条例の制定について	刑法等の一部を改正する法律に伴い、懲役及び禁錮が廃止され、 代わりに拘禁刑が創設されることによる文言の変更。	可決 全会一致	総務事業
議 案 第5号	忠岡町犯罪被害者等支援条例 の制定について	犯罪被害者等の権利利益の保護並びに被害の軽減及び回復を図 るとともに、町民が安心して暮らすことができる社会の実現に寄与 する事を目的に制定	可決 全会一致	総務事業
議 案 第6号	忠岡町一般職の任期付職員の 採用等に関する条例の一部改 正について	人事院勧告に係る給与改定及び育児と介護の両立支援制度の拡 充に伴う改正。 (育児休暇の対象を3才未満⇒小学校就学前)	可決 全会一致	—
議 案 第7号	忠岡町議会議員の議員報酬及 び費用弁償等条例の一部改正 について	人事院勧告に準じ、議員の期末手当を年間0.1月分上乗せ。	可決 全会一致	—
議 案 第8号	忠岡町特別職の職員の給与に 関する条例の一部改正について	人事院勧告に準じ、特別職(町長・副町長・教育長)の期末手当を年 間0.1月分上乗せ。また、教育長の給与を月額10%減額及び退職 手当の不支給。	可決 全会一致	—
議 案 第9号	一般職の職員の給与に関する 条例等の一部改正について	人事院勧告に準じ、給与、地域手当などの各種手当の改正、及び刑 法改正(議案第4号参照)に伴う規定の改正	可決 全会一致	—
議 案 第10号	忠岡町会計年度任用職員の給 与等に関する条例の一部改正 について	会計年度任用職員の期末勤勉手当の支給率の改正	可決 全会一致	—
議 案 第11号	忠岡町職員退職手当に関する 条例の一部改正について	雇用保険法改正により、退職手当の額が民間の失業等給付額に満 たない部分の支給が廃止されることに伴う改正。また刑法改正に 伴う規定の改正	可決 全会一致	総務事業
議 案 第12号	忠岡町霊園基金条例の一部改 正について	浜霊園の管理運営の経費に充てるため、新たに使用料を充てるこ とを定める改正	可決 全会一致	総務事業
議 案 第13号	忠岡町霊園条例の一部改正に ついて	浜霊園の使用料について、受益者負担の原則に基づき、期間・条件 に応じた返還率を明確にするための改正。(令和8年4月1日施行)	可決 賛成多数	総務事業
議 案 第14号	忠岡町国民健康保険料条例の 一部改正について	身寄り不明の方が急患として医療機関を受診した際、医療費及び 保険料の徴収猶予を最長1年間活用するための改正。	可決 全会一致	福祉文教
議 案 第15号	忠岡町ひとり親家庭の医療費 の助成に関する条例の一部改 正について	児童扶養手当の所得制限基準のうち、控除対象扶養親族に係る国 内居住要件が設けられ、対象でない方が除かれることになる改正。	可決 全会一致	福祉文教
議 案 第16号	忠岡町一般職の職員の特殊勤 務手当に関する条例の一部改 正について	消防職員の特殊勤務手当の種類に、新たに緊急消防援助隊で出動 した際の手当を1日につき2,160円とする規定を追加。	可決 全会一致	総務事業
議 案 第17号	令和6年度忠岡町一般会計補 正予算(第9号)について	指定避難所の生活環境改善のための機能強化。保育士等の処遇 改善に係る費用等、1億5,273万6千円を計上。	可決 全会一致	総務事業 福祉文教
議 案 第18号	令和6年度忠岡町介護保険特 別会計補正予算(第2号)につ いて	当初給付見込額と実績給付見込額との間に差異が発生し、不足し たサービス費、4,968万円を計上。	可決 全会一致	福祉文教

議案番号	件名	議案内容	議決結果	所管委員会
議案第19号	令和7年度忠岡町一般会計予算について	令和7年度当初予算案についての審査 (審査結果は12ページ、審査内容は10～13ページを参照)	可決 賛成多数	予算審査 特別委員会
議案第20号	令和7年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について		可決 賛成多数	
議案第21号	令和7年度忠岡町介護保険特別会計予算について		可決 賛成多数	
議案第22号	令和7年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について		可決 賛成多数	
議案第23号	令和7年度忠岡町下水道事業会計予算について		可決 全会一致	
忠議第1号	忠岡町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	デジタル社会形成基本法等の一部改正する法律が施行されるに あたり、引用条文に移動があり、規定整備するため改正。	可決 全会一致	—
議案第24号	令和6年度忠岡町一般会計補正予算(第10号)について	令和6年度中に終了しなかった9事業を来年度に繰越し、令和6年度に実施した小中学校給食費助成の追加費用200万円を計上。	可決 全会一致	福祉文教
議案第25号	令和6年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)について	国民健康保険料の収入不足が見込まれるため、財政調整基金の取り崩し並びに国への返還金4千円を計上。	可決 全会一致	—
議案第26号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第1号)について	物価高騰による家計負担低減のため、6ヶ月分の水道基本料金全額を免除、戸籍の振り仮名法制化の関連経費等、5,249万5千円を計上。	可決 全会一致	—

※所管委員会…「—」：委員会付託なし（即日議決）、「総務事業」：総務事業常任委員会、「福祉文教」：福祉文教常任委員会

賛成と反対が分かれた議案

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長

議案第13号		結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党		無所属の会	
忠岡町霊園条例の一部改正について		果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	二家本	河野	松井	三宅
		可決	○	○	○	○	議	○	×	×	×	×
反対意見	100年以上使用する墓地に対し25%の返還義務を残す事は、霊園基金の管理上適切ではない。墓終いは、補助金で対応すべき											
反対意見	今まで全額返還した実績があり、今後、全額返還しないのは不公平感がある。条例施行後の新規から対応すべき。											
議案第19号		結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党		無所属の会	
令和7年度忠岡町一般会計予算について		果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	二家本	河野	松井	三宅
		可決	○	○	○	○	議	○	×	×	○	○
反対意見	町長は選挙で過半数を得なかったのに民意を得たと産廃焼却施設誘致を進め、ため込んだ財調は住民福祉には使わない。											
議案第20号		結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党		無所属の会	
令和7年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について		果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	二家本	河野	松井	三宅
		可決	○	○	○	○	議	○	×	×	○	○
反対意見	国保会計は黒字続きた。取りすぎた保険料は加入者に返し、保険料の引き下げを。紙の保険証は残す事。											

3月議会の議案審議状況・補正予算・意見書

議 案 第21号			結 果 可決	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党		無所属の会	
令和7年度忠岡町介護保険特別会計予算について				河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	二家本	河野	松井	三宅
				○	○	○	○	議	○	×	×	○	○
反対意見		一般会計から繰り入れ、高い保険料の引き下げを。介護認定は困る人がない様に必要な人には必要なサービスを。											
議 案 第22号			結 果 可決	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党		無所属の会	
令和7年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について				河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	二家本	河野	松井	三宅
				○	○	○	○	議	○	×	×	○	○
反対意見		大阪府は高い保険料を取って、基金はR5年度末で193億円も貯めている。保険料の引き下げに使うべき。											
議 案 第26号			結 果 可決	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党		無所属の会	
令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第1号)について				河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	二家本	河野	松井	三宅
				○	○	○	○	議	○	×	×	○	○
修正案	上記 補正予算より戸籍の振り仮名法制化対応関連経費419万9千円を除く修正案		結果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	二家本	河野	松井	三宅
			否決	×	×	×	×	議	×	○	○	×	×
	賛成意見	戸籍の振り仮名記載は行政に名前を審査される。命名権・人格権への侵害になりかねない。											

議案第24号 令和6年度忠岡町一般会計補正予算(第10号)

1.繰越明許(令和7年度へ事業を繰り越すため)

- ①大阪・関西万博子ども招待事業委託

35万2千円
- ②避難所環境改善整備事業
避難生活改善のため、給水車や給水タンク、簡易テント、災害用トイレなどの購入費用

6,178万8千円
- ③住民税非課税世帯支援給付金事業
非課税世帯へ3万円、そのうち子ども一人あたり2万円追加給付

1億1,498万1千円
- ④忠岡東1丁目他雨水排水検討業務

341万円
- ⑤東忠岡小学校屋内運動場防水改修工事

1,844万7千円
- ⑥小中学校屋内運動場空調整備工事実施設計事業
体育館に空調設置するための設計費用

834万円

意見書

議案番号	件名	議決結果
意見書 第1号	インボイス制度の廃止を求める意見書について	否決 賛成少数

総務事業常任委員会報告 (令和7年2月28日開催)

2月28日に開催し7件の案件について審査を行いました。

委員長 松井 匡仁

委員 前川 和也／今奈良 幸子／北村 孝／河野 隆子

審議結果一覧

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 委…委員長

議案番号	件名	討論	採決					議決結果
			松井	前川	今奈良	北村	河野	
議案第4号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第5号	忠岡町犯罪被害者等支援条例の制定について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第11号	忠岡町職員退職手当に関する条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第12号	忠岡町霊園基金条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第13号	忠岡町霊園条例の一部改正について	反対討論あり	委	○	○	○	×	可決 賛成多数
議案第16号	忠岡町一般職の職員の特殊職務手当に関する条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第17号	令和6年度忠岡町一般会計補正予算(第9号)について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致

総務事業常任委員会は行政機構の運営や管理、ごみ処理、産業振興、災害対策、消防救急に関することなどを協議、調査、審議します。

賛成と反対が分かれた議案

議案第13号	忠岡町霊園条例の一部改正について
反対意見	これまで墓地返還時には町は全額使用料を返還してきた。今回の改正は返還率を変更する条例であり反対

福祉文教常任委員会報告 (令和7年3月4日、25日開催)

3月4日に開催し4件の案件について審査を行いました。

委員長 三宅 良矢

委員 尾崎 孝子／河瀬 成利／小島みゆき／二家本 英生 オブザーバー 北村 孝

審議結果一覧

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 委…委員長

議案番号	件名	討論	採決					議決結果
			三宅	尾崎	河瀬	小島	二家本	
議案第14号	忠岡町国民健康保険料条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第15号	忠岡町ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第17号	令和6年度忠岡町一般会計補正予算(第9号)について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第18号	令和6年度忠岡町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致

3月25日に開催し1件の案件について審査を行いました。

審議結果一覧

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 委…委員長

議案番号	件名	討論	採決					議決結果
			三宅	尾崎	河瀬	小島	二家本	
議案第24号	令和6年度忠岡町一般会計補正予算(第10号)について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致

福祉文教常任委員会は教育や子どもの福祉、生涯学習、高齢介護、地域福祉、健康増進に関することなどを協議、調査、審議します。



今奈良 幸子 議員 （大阪維新の会・呈祥会）

誰もが役割を持てる地域共生社会の実現に向けて

問 包括的な支援体制の整備を行う重層的支援体制整備事業の導入の方針は？

答 〈健康福祉部長〉体制の構築はできていない。本町にあった支援の在り方について調査研究していく。

学校教育・切れ目のない子育て支援が 充実したまちづくりについて

問 大阪関西万博子ども招待事業において学校との連携・支援はどのように行うのか？

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉保護者のバス代負担額が大幅に増えないよう町独自の補助金等を検討。学校長に情報を提供し連携に努める。

問 SSWとSCの配置も大切ではあるが、予防的な支援としてポジティブ行動支援の導入を視野に入れてみては？

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉ポジティブなフィードバックが重要である。一人一台端末を活用する等、個別最適な学びの実現に向け努める。

問 こども家庭庁の保育政策の新たな方向性にある3つの柱についてどのように考えているのか？

答 〈健康福祉部長〉全ての子どもの育ちと子育て家庭を支援する取組みをさらに進めていく。

問 子育て支援員研修・居宅訪問型保育研修の開催の必要性和実施はどのように行っていくのか？

答 〈健康福祉部次長兼保険課長〉必要性は大切なことである。研修は大阪府に委託し合同で実施している。

愛着がもてる・災害に強い・ 誰もがくらしやすいまちづくりについて

問 ①地域づくり事業②町民と協働してまちづくりを進めるうえでの課題は？

答 〈健康福祉部長・町長公室次長〉①地域資源が少ない②自治会加入率の低下・担い手不足。

問 住民が地域の課題等を主体的に検討、共有、取り組み体制の形成のためにワークショップの開催の実施は？

答 〈健康福祉部長・町長公室次長〉行政主導ではなく住民が主体的になって進めていく必要がある。

問 町民の健康意識を高める施策・高齢者等を狙った犯罪の未然防止対策は？

答 〈健康福祉部次長・産業住民部長〉検診受診勧奨に努める。トラブルに巻き込まれないための啓発活動。



二家本 英生 議員 （日本共産党）

大阪・関西万博への学校単位での 招待事業について

問 学校単位での招待事業について、招待を見送る自治体や学年を限定する学校も増えてきた。理由として、集団からはぐれる児童生徒の対応、熱中症の心配などが挙げられる。子どもたちを守ることが第一である。下見をした上で、慎重な判断を。

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉最終的には学校長の判断になる。下見をした上で、計画・準備をすすめる。

小中学校体育館のエアコン設置について

問 昨年の議会で、今年の夏にエアコン設置の工事予定と聞いていたが、今年、確認すると、夏に間に合わない事が判明した。児童生徒のために早い設置が望まれるが、遅くなる理由は。

答 〈教育部長兼教育総務課長〉国の補正予算で、当初予定していた財源より、より有利な交付金が活用できることが判明した。この交付金を利用するにあたり、工事内容を精査する必要がある、当初予算での計上は見送った。着実に整備をすすめたい。

産廃施設が原因による健康被害が 判明した場合の補償について

問 忠岡町が進める産廃焼却施設建設について、建設後は、環境基準物質の排出総量は増えることが想定される。この事業が原因で健康被害が判明した場合、忠岡町は補償をするのか。

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉適正な施設運営が行われているかなどモニタリングを実施し、事業を進めるので、健康被害による補償は想定していない。

障がい者・児への施策について

問 何らかの障がいをもった人が、全人口の9.3%となっている。障がいをもった人が地域で生活していくためには、各世代各場面での支援が必要である。町長のお考えは。

答 〈町長〉非常に重要なものと認識している。様々な課題に取り組む。



尾崎 孝子 議員 (大阪維新の会・呈祥会)

若年女性の流出防止について

問 若年女性が半減し、将来消滅可能性市町が4割だった。本町も第6次総合計画での将来人口の減少に向け人が集う魅力あるまちづくりをどう進めるのか？

答 〈町長公室長〉小さい頃から本町に愛着を持ってもらう施策を実施し流出防止、定住促進に繋げる。

問 SDGsの行政運営での「次世代・女性のエンパワメント」をどう推進するのか？

答 〈産業住民部次長兼人権課長〉SDGsの目標5の「ジェンダー平等」の達成を目指し、女性のエンパワメントに関する講座、講演会の開催や啓発運動の実施を検討する。



三宅 良矢 (無所属の会)

介護現場のケアマネ・ヘルパーが『何でも屋』に？

問 ケアマネやヘルパーが、本来の業務ではないことまで頼まれるケースが昔から続いている。利用者や家族だけでなく、医療機関、警察、救急、自治体などからも頼られる。

介護保険制度のもとで「できること・できないこと」の線引きを明確にし、利用者やその家族、関係機関すべてに周知すべきではないか？

答 〈健康福祉部長〉次回の介護保険冊子の改定時に、この点について明記する。

職員の言動は適切か？ — 高圧的な対応への懸念

問 役場職員の高圧的な言動について、工事業者的方から2件の苦情が寄せられた。いずれも、役場内で立場のある職員による発言である。

現在、役場ではカスタマーハラスメント対策を進め、理不尽な要求には毅然と対応する方針を打ち出

地域包括ケアシステム(認知症・ACP)について

問 ①地域包括ケアシステムは「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける」ことを目指す。認知症の相談体制・啓発について

②認知症は、早期対応により、心理・行動症状を改善できる。心の理解、自己肯定感、希望が必要。地域で支援する認知症サポーターになるには？

③イカロスネット(医療介護地域推進ネットワーク)が在宅医療を支える中でのACP(人生会議)について

答 〈健康福祉部長〉①福祉課窓口にて随時、相談対応。ケアパス冊子、月1回の認知症カフェ、出張相談、書籍、映画上映会等の啓発・普及に努めている。

②認知症サポーターは、認知症への理解を深め、普段の暮らしのなかで見守り、できる範囲で手を差し伸べ支援する人のことで、自治体での90分の養成講座を受講するだけでなれる。多くの方になって頂きたい。

③ACPは最期の迎え方を共有する取組みのことで、泉大津市医師会主催のACPフォーラムを開催。周知啓発に努めている。

している。しかし、その結果として、職員の立場ばかりが一方向的に強くなってしまっていないか？

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉役場側の対応を強化するだけでなく、住民や業者への接遇や態度についても見直す。

坂上副町長が見た忠岡町 ～その魅力と課題～

問 坂上副町長は大阪府庁での勤務経験があり、熊取町在住で、これまで忠岡町との関わりは少なかったと伺っている。だからこそ、外部の視点で気付いた、忠岡町の「強み」や「弱み」を教えてほしい。

答 〈副町長〉忠岡町の強みは、住民との距離が近い、交通の利便性が高い、そして工業出荷額が府内町村の中でも比較的高い。

一方で、課題としては、職員の確保、地域コミュニティの機能低下、インフラの更新・維持に向けた見通しを立てる必要があると考えている。



松井 匡仁 議員

（無所属の会）

下水道事業会計と下水道料金について

問 私たち住民は、昭和62年当時、下水道整備の必要性を理解し、污水管整備を開始した。下水処理場が本町の地先に建設されたことで、本町においては集中的に污水管渠の整備が必要となり、平成3年から平成12年までのわずか10年間で町域全体の90%以上の敷設工事を終えた。当たり前ですが、一気に敷設工事を行うため、その10年間の間に一気に借入れを起こした。そして、その借入れを返済するために40年余りの歳月をかけて100億円以上の返済を私たちは行って来た。そしてやっと現行の料金から利益が生まれ出したら、その利益は、4条の会計上の不足に充て、残りは積み立てる。それでは、あまりにも今の世代の負担が大きすぎる。町長、今回わたしは、『物価が高騰してるから負担を減らして欲しい』とか『補助金を出して欲しい』とか言っているのではない。下水道事業会計の中で、大きな純利益が

発生している。いや、やっとそういう状況になった。それなら下水道使用料を引き下げて適正な料金になるように改訂をしなければならないと申し上げているんです。杉原町長の考えを伺いたい。

答 〈町長〉下水道事業における経営状況については、污水管渠の老朽化対策が控えてはいるが、時間的猶予はあるとの事。また下水道使用料の漸減度合いは、一定期間であれば下水道使用料の総額からいくらか減額できると担当課から報告を受けている。急速に進行する人口減少、節水機器の普及、維持管理費の上昇により経営環境は厳しさを増すばかりだが、今後の下水道事業経営の安定性とサービスの向上に資する使用料体系を構築するよう指示すると共に、使用者の皆様へ可能な限り、広く黒字を還元するようあわせて指示をしてまいる。



前川 和也 議員

（大阪維新の会・呈祥会）

自殺対策について

問 現行の対策計画が最終年度を迎える。今後の取り組みにおいて、ゲートキーパー養成事業など、一層充実した取り組みを求める。

答 〈健康福祉部長〉自殺予防は社会全体で取り組む必要があり、同じく改訂を迎える地域福祉計画と一体的に計画を策定していく。ゲートキーパーの養成も大変有用であると考えている。

防犯カメラの運用規程について

問 防犯カメラは犯罪の抑止に非常に重要なものである。守秘に関する規程、苦情対応に関する規程、保守点検に関する規程など、今後も増設が予想されるからこそきちんと規程に入れるべきではないか。

答 〈町長公室兼自治防災課長〉見直しについて検討していきたい。

災害救援物資の物流について

問 平素からの備蓄も重要であるが、災害時に備蓄品

が保管場所から避難所へ、そして必要とする方へスムーズに届けることができるよう訓練すべきではないか。

答 〈町長公室次長兼自治防災課長〉物資配送マニュアル策定について現在着手中であり、準備等が整いつつ次第実働訓練を行う。

公民連携について

問 公民連携は地方行政の重要施策であるが、実際の取り組みとしてはそのように感じられない。公民連携を実施していく環境整備として、公民連携デスクの設置やガイドラインを策定すべきではないか。

答 〈町長〉大阪府の公民連携のノウハウを活かし、積極的に推進していく。デスクの設置は人員的に難しいが、ガイドラインの策定については研究していく。

転入・定住促進に向けた取り組みについて

問 PRイベントに本町も積極的に参加をすべきではないか

答 〈町長公室長〉参加を検討していく。



河野 隆子 議員 (日本共産党)

産廃焼却施設誘致計画の説明責任をはたさない町の姿勢を問う

問 広報忠岡 1 月号のエコレポでは焼却量が約 10 倍の 220 トンになる事が意図的に書いていない。載せるべきだ。

答 〈産業住民次長兼生活環境課長〉意図的に知らせないといった認識はない。

問 産廃ごみは国基準を守るから安心だと書いているが、今だに何を燃やすか分からない。環境悪化による危険性がある。計画は中止すべきだ。

答 〈産業住民次長兼生活環境課長〉環境基準にない新たな有害物質が判明した場合は国による適切な対応が行われると考えている。

学校給食の無償化を早期にされること

問 府下では半数近くの市町村が、小中学校の給食無償化を実施している。本町でも早期の検討を。

答 〈教育部長兼教育総務課長〉国に早期実現を要望していく。

高い介護保険料の引き下げを

問 介護保険料は本人が非課税であっても、世帯に課税者がいたら年間 76,760 円になる。一般会計から繰り入

れて引き下げよ。

答 〈健康福祉部長〉繰り入れる考えはない。

要介護認定は必要な人が必要なサービスを受けられるようにされること

問 認定審査の結果により、介護度が低く認定され困る人が出ている。必要なサービスが受けられるよう、ケアマネなどの意見も反映されること。

答 〈健康福祉部長〉国の判定基準に基づき実施している。

住宅用火災報知器の設置を町でされること

問 2011 年火災報知器の義務化で、本町は障がい者や 65 歳以上の一人暮らしの高齢者に支給、取付もされた。10 年以上たって期限切れになっている。引き続き、町で対応されよ。

答 〈健康福祉部長〉設置以降の対応は各家庭で行って頂きたい。

問 住宅用火災報知器の重要性、効果は？

答 〈消防次長兼予防課長〉火災報知器を設置する事で、火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが大幅に減少する。



小島 みゆき 議員 (公明党)

災害に強いまちづくりについて

問 防災・減災対策にどのように取り組むのか。

答 〈町長公室次長兼自治防災課長〉災害協定の締結をはじめ地域防災計画、災害時に業務を的確に行えるよう改訂を行い、備蓄品の整備をする。

誰もがいきいきと暮らせるまちづくりについて

問 健康事業、介護予防の取り組みは。

答 〈健康福祉部次長兼保健課長〉産前から産後、子どもから高齢者まで、誰もがいきいきと暮らせるよう取り組みをしているし更に進めていく。

補聴器助成について

問 耳の聞こえが認知症につながっていく、難聴の早期発見に向けた取り組みとして聴力検査や購入費用の助成拡充を。

答 〈健康福祉部長〉実施していないが、聴力検査をし対策をする事で認知症に効果がある事は認識はしている。助成の拡充は慎重に検討すべきと考えてる。

アピアランス事業について

問 がんだけでなく病気や脱毛症で苦しい思いをされている方へも助成拡充を。

答 〈健康福祉部次長兼保健課長〉4 月から事業を開始する。これは決してゴールではないのでご理解を。

带状疱疹ワクチンについて

問 これまでの要望でも定期接種化になればとの答弁で、ようやく定期接種化になった。開始時期と対象者や助成額は。

答 〈健康福祉部次長兼保健課長〉65 歳以上の高齢者が対象で、自己負担の半額の助成で実施。

防犯について

問 犯罪の抑止力、防犯対策である住宅用防犯カメラやモニター付きインターホンなどの購入、設置費用の助成を。

答 〈町長公室次長兼自治防災課長〉防犯カメラの重要性は理解している。補助をしている自治体の調査をする。



河瀬 成利 議員 (大阪維新の会・呈祥会)

学校教育が充実したまちづくりについて

問 中学校のクラブ活動について、外部指導員の配置や地域移行に向けての取り組み状況について、取り組みが進んでいない場合、その原因と進んでいないことによる支障はないか。

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉外部指導員の配置については、忠岡町部活動外部指導者派遣事業を実施しており、学校長の要請があれば、外部人材の活用は実施可能な状況である。今年度についても、活動中の部活動にて有償ボランティアとして地域の方に教員の補助として部活動を支援して頂いている。又、全国的に教職員の働き方改革が進められる中、本町においても他の自治体同様、部活動の地域移行については進めていくべき課題であると認識している。

問 小学生が登校時に使用しているランドセル等の鞆について、学校ではどのような指定、取扱いがされているのか。代わりに布製のランドセル(ランリュッ

ク)等を町のオリジナルデザインを施して導入してはいかがか。

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉ランドセルについては、保護者の判断で準備して頂いている。ランリュックについて、指定している他市町村の状況等を調査研究する。

問 子ども安全見守り隊等のボランティア団体の現状と今後の取り組みについて問う。

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉警察官OBであるスクールガードリーダーを配置し、登下校時間を中心に忠岡小学校区と東忠岡小学校区を週2回ずつ巡回して頂いている。又、登下校等の交通安全については、各校で長期休業期間前や学期始まり等に注意喚起をしている。

令和7年度予算審査特別委員会 審査報告 開催 令和7年3月12日・13日・17日

委員長：前川和也(大阪維新の会・呈祥会) 副委員長：小島みゆき(公明党)
委員：二家本英生(共産党) 三宅良矢(無所属の会) 尾崎孝子(大阪維新の会・呈祥会)
：北村 孝(オブザーバー)

◎令和7年度 当初予算額

会 計 名	令 和 7 年 度	前 年 度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	81億4,332万9千円	74億1,000万1千円	7億3,332万8千円	9.9%
特 別 会 計	41億5,088万0千円	42億5,350万6千円	△1億262万6千円	△2.4%
国民健康保険事業勘定特別会計	17億7,723万2千円	19億6,203万9千円	△1億8,480万7千円	△9.4%
介護保険特別会計	18億335万7千円	16億8,849万5千円	1億1,486万2千円	6.8%
後期高齢者医療特別会計	5億7,029万1千円	6億297万2千円	△3,268万1千円	△5.4%
企 業 会 計	14億8,809万7千円	16億2,952万3千円	△1億4,142万6千円	△8.7%
下水道事業会計	14億8,809万7千円	16億2,952万3千円	△1億4,142万6千円	△8.7%
合 計	137億8,230万6千円	132億9,303万0千円	4億8,927万6千円	3.7%
令和7年度当初予算における主要新規施策(抜粋)				
・第2子(0歳～2歳)保育料無償化事業	888万5千円	・忠岡町環境基本計画等策定事業	1,305万4千円	
・犯罪被害者等見舞金事業	30万円	・2市1町周遊企画事業	50万円	
・シビックセンターWi-Fi環境整備事業	2,647万6千円	・シビックセンター改修工事	2,827万円	
・東区ふれあい広場整備工事	3,051万円	・大阪・関西万博関連予算	1,886万1千円	
・空き家再生等推進事業	80万円			

質疑応答 <部局ごとの質疑>

問 人権啓発費について、7年度もさまざまな事業が予定されている。時代に合ったこと(特にネット上での人権侵害)を取り上げるべきではないか。

答 重要性について理解をしており、検討する。

問 備蓄品の中に液体ミルクを入れて貰ったが、お子さんの離乳食も入れてほしい。食べる物が無かったら生きていけない。

答 当然重要と考えている、適切な対応を心がけていく。

問 今後5年間の財政収支見通し(予算ベース)では赤字が続いている。令和6年度の当初見込は2.8億円の赤字である。実際の見込決算は。

答 2月末時点で、1億円前後の黒字の見込になる。

問 町ホームページや広報誌における広告枠募集への取り組み強化を。公用車やあらゆる封筒への広告も検討すべきでは。稼ぐという視点を持つべきである。

答 積極的に取り組みたい。公用車への広告については導入予定である。

問 大阪府の一人当たり医療費は全国15位なのに、保険料は全国1位である。府の国保会計も令和5年度で144億円の黒字。取り過ぎた保険料を引き下げに使うべきでは。

答 保険料が高止まりしているのは事実。市町村から府や国に公金導入を要望する。

問 庁舎北側の軽4専用の駐車場が狭いので、空きスペースを活用し駐車台数を減らさず、区画線を広くしていただけないか。

答 平和の鐘の横に数台、駐車できるので、区画線を引き直し、駐車台数を確保する。

問 母子手帳と子育てアプリを一体化し、活用の拡大をしてほしい。

答 母子手帳は紙だが、ワクチン管理などわかりにくかったものを、アプリでお知らせしている。今後、アプリの活用の幅を広げていきたい。

問 西区ふれあい公園の案内板が「ごみは必ずごみばこへ入れて下さい」のまま。ゴミが投げ捨てられ、飲料の瓶をたたき割り放置している。案内板や啓発等の改善を求める。

答 現場を確認し検討してみる。

問 健幸づくり・食育推進計画の策定に向けて、「5年後までに小中学生の朝食欠食率を20%減少させる」など測定可能な評価目標を導入すべき。

答 出来るかどうか踏まえて検討していく。

問 大阪・関西万博への小中学校の遠足について、①保護者説明②会場内での迷子などの安全対策③何かあった際の責任についてどのようになっているか？

答 ①未定
②小学校は上級生とペアを組ませる
③全て学校長の責任



総括質疑 <大局的な質疑>

問 総合教育会議について本町ではこれまで年1回しか開催されていないが、年に数回は開催をして、町長の想いや考えを教育行政に反映していくことを求める。

答 より良い教育行政を目指し、機会を捉えて取り組んでいきたい。

問 忠岡町がすすめる産廃焼却施設建設計画で、当初、忠岡町の役割として「住民に理解を得ること」であった。住民へ十分な情報を提供した上で、最終的には住民投票をおこない、理解を求める事が必要ではないか。

答 議会の議決も得ており、町長選挙でも推進している町長が当選をしたので理解を得ていると認識している。これまで同様、ホームページや情報コーナー、広報紙などで情報提供をおこなう。

問 高齢者のフレイルの取り組みをしているが、医療費は高くなっている。今後どのような取り組みをするのか。また、認知症の問題、抱える家族も本当に大変です。その方々を支えていく取り組みや対策をもっと進めてほしいし、本当にお困りの方を支援するべきだと思うが。

答 少ない資源のところを増やし、サービスで不足している運動教室だったり健康寿命を延伸できるような事業を考えている。出張型など認知症のところにも力を入れていく。

問 各種団体補助金について、毎年ほぼ同じ金額が支給されている。在り方について積極的に関わり、会則等が時代に即した内容か今一度、確認を求める。

答 定額補助で担当者がいる。団体にあわせてみていく。

問 ごみ処理場の建て替え費用について、忠岡町の公民連携方式にあう国の補助金が出されるようになった。活用すれば忠岡町の財政負担は、10億円単位で軽くなると考えるが、どの様に考えるか？

答 交渉の材料としたい

問 自治防災課が主となり、全庁的に取り組む必要のある「国民保護」について、令和7年度における本町の動きは。

答 7年度は具体的には予定をしていないが、他の自治体の取り組みについて調査研究する。

問 小学校入学へ向けた正しい成長理解に『5歳児健診』を導入し、発達障がい早期発見や支援の個別必要性などに繋げていくべき。

答 していきたいと考えるが、予算よりも医師の確保が課題となる。

問 文化の活性化について、正木美術館も3/15(土)から山水というテーマで開館している。正木美術館や本町出身で活躍している著名人などの活躍を町として積極的に発信して頂きたい。

答 様々なツールを使い積極的に発信していく。

審査結果一覧

※委員長は採決に加わりません

議案番号	件名	維新・呈祥		共産	無所属	公明
		前川	尾崎	二家本	三宅	小島
議案第19号	令和7年度忠岡町一般会計予算について	委員長	○	×	○	○
議案第20号	令和7年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	委員長	○	×	○	○
議案第21号	令和7年度忠岡町介護保険特別会計予算について	委員長	○	×	○	○
議案第22号	令和7年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について	委員長	○	×	○	○
議案第23号	令和7年度忠岡町下水道事業会計予算について	委員長	○	○	○	○

上記予算特別委員会の審査結果を受け、本会議において下水道事業会計については、全会派一致その他の各会計予算については賛成多数での可決となりました。

令和7年度当初予算に対する意見集約

賛成

公明党

米や食料品などの物価高騰により、暮らしは大きな打撃を受け続けており、町民の生活は厳しい状況。加速する少子化への対応、困難を抱えている女性、児童虐待や不登校等、命と暮らしの安心保障、防災・減災への投資、インフラの点検等の諸課題の継続、安全な教育環境の整備、避難所となる小中学校の体育館空調設備の設置、切れ目の無い子育て支援、併せて保育士の確保に努めること。これまでも要望していた災害備蓄品の補充、带状疱疹ワクチン接種の助成、アピアランス支援に取り組んで行かれることは評価します。更に脱毛症の方へも取り入れていただきたい。今後も鋭意努力され、適正に執行されることを要望し、賛成します。

無所属の会

これまで空席であった教育長が、4月より着任される。教育部長が全てになっていたが、教育長と連携することで教育の再構築を進めて、説明責任をしっかりと行い透明性の高いものへと変えてください。また人材確保については特に注力し、長期的な視点での取り組みを進めてください。

大阪維新の会・呈祥会

少子高齢化が進む中、予算には、切れ目のない子育て支援が充実するよう、将来の担い手でもある子どもへの施策が盛り込まれている。本町も20年後には約1万4千人となる予想。行政の担い手が減少し、財政も厳しくなる。この現状を見据え「広域連携」を推進すべき。「稼ぐ視点」として、企業版ふるさと納税、ホームページのバナー広告、基金の運営、公用車の広告等を提案する。「公民連携」は、ガイドライン等を策定し、より一層押し進めていくべき。地方自治に求められている「町民協働」も積極的に進め、地域に根ざした支え合いの仕組みの構築を要望する。予算執行の運営に、これらの取り組みを求め、全予算案に賛成する。

反対

日本共産党

最大の問題は、産廃焼却施設建設の計画を住民の理解を得られていなまま、進めています。住民の不安の声を聞こうとしない強硬な姿勢は、行政のあり方として大問題であり、断じて認められない。物価高騰に対する支援についても、町の財源を活用した施策は見られない。くらしを支えるため、町の財政調整基金を活用し、物価高騰による事業者への支援、子育て世帯に対し、学校給食の無償化などの支援、国保料・介護保険料の引き下げなどを求めましたが、住民の声には応えない忠岡町です。住民の声で動く町政、そして、物価高騰で大変な住民のくらしを支える町財政運営を求め、下水道事業会計は賛成、一般会計、各特別会計については反対とします。

議会ペーパーレス会議システムの導入について

この3月より、会議のデジタル化・ペーパーレス化を目的として、タブレット端末及び議会のペーパーレス会議システムを導入いたしました。今後ともデジタル機器を活用して、議会のスマート化・見える化を推進してまいります。



総務事業常任委員会視察報告

令和7年1月22日・23日

松井委員長・前川副委員長・北村委員・河野委員・今奈良委員

【令和7年1月22日】

(鳥取市) 令和5年8月15日、台風7号による豪雨災害時の対応と課題について

○令和5年8月15日に鳥取市で発生した豪雨災害について、実際に現場で陣頭指揮をとった市担当者から当時の状況と対応、そして今後の課題などを伺い、本町においても起こりうる河川氾濫や洪水に対しての準備や対策の調査研究を目的に視察を行いました。まずは、鳥取市がこの豪雨災害において死者・行方不明者だけではなく一人の負傷者も出さなかった理由として挙げられていたことは、市民の防災意識を高め、自主防災組織の構築が出来ていたこと、そしてタイムラグの無い正確な情報伝達機能を備えていたことでありました。又、反省点と致しましては、一度に複数の避難所を開設

するにあたり、人員と輸送手段の確保が困難を極め、住民の受け入れに時間を要したことを挙げられていました。最後に今後の課題として開設避難所が今回以上に増加、長期化した場合の人的、物的支援の受け入れ態勢の確保や支援物資等の配送手段の確保、断水が長期化した場合の入浴支援、ボランティアセンターの設置方法、災害廃棄物の処理方法など、事前に検討しておくべき課題などのアドバイスいただきました。私たち総務事業常任委員会メンバーは、この行政視察で得たものを今後の忠岡町の防災、減災対策に生かして行きます。



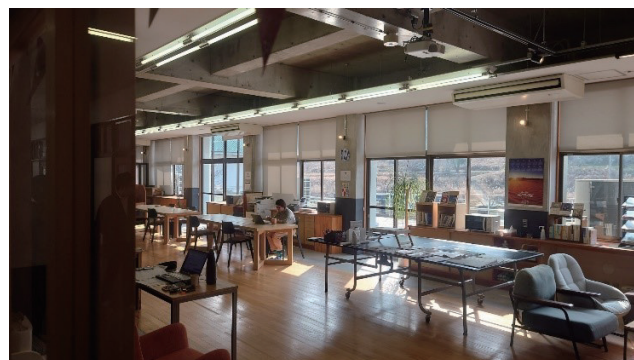
【鳥取市災害対策本部において説明を受けました】

【令和7年1月23日】

(八頭町隼Lab) 廃校舎の再生利用事業と地域コミュニティの活性化について

計画準備段階から民間の参画により開始された事業であるため、民間企業のネットワークを最大限に生かした企業誘致が行われている。現在は、シェアオフィスやコワーキングスペース会員企業は40社が入居しており、その中には鳥取銀行や大和証券、日本海新聞などの大手企業をはじめ、東京都内のシステム開発企業やインターネット広告会社等も入居している。視察を行った1月23日も入居企業が業務を行っていた。

また、地域コミュニティの複合施設としての役割も大きく、1階のカフェでは、地域の女性たちが歓談をする姿が見られた。このカフェの経営など民間運営会社が行うイベントや事業により、年間来場者数は6600人に上り、会場以来運営会社は黒字経営を継続している数少ない成功事例と言える。今後、少子化が加速する本町においても非常に興味深い取り組みであった。



【学校の校舎や教室をそのまま利用してオフィスにしています】

忠岡町ごみ処理施設調査特別委員会（第12回）

開催 令和7年3月25日

委員長／前川和也 副委員長／河野隆子

委員／河瀬成利、今奈良幸子、小島みゆき、二家本英生、松井匡仁、三宅良矢、尾崎孝子

オブザーバー／北村 孝 議長

令和7年3月25日、第12回目のごみ処理施設調査特別委員会が開催されました。

今回の案件は令和6年2月に締結された、本町と忠岡工

コサービス株式会社との覚書（し尿処理施設解体撤去事業費）について、その後に変更合意書が交わされたため、理事者より説明を受けたものです。

質疑応答

問 PCB処理について契約や処分方法などは、法令に基づいた処理を行ったのか？

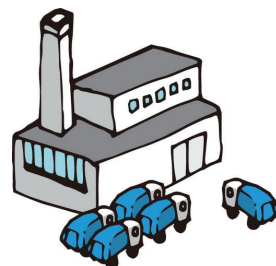
答 法令に従い適切な処理を行った。

問 クリーンセンター土壌汚染調査委託の資料が出されているが地歴調査で汚染があれば、費用は忠岡町持ちになる。出た場合は委託料が変わってくる。超概算で試算はどうなっているのか。

答 調査が終わってないから、試算できない。

問 し尿処理施設の解体費用が、当初の提示額より約1,740万円減額となっており、事業者側から示された、と答弁があった。忠岡町で確認しなかったのか。

答 確認していなかった。今後、同様の事が出ない様に、注意を払う。



令和6年度 大阪府南部地区議長会 視察研修（報告）

開催日時：令和7年1月28日～29日

視察先：熊本県益城町・熊本県 くまモン課

参加者：田尻町、岬町、熊取町、忠岡町 各議長及び議会事務局長

《復興対応について》

熊本地震から9年が経過した現在の復興状況の説明を受けた。防災力強化に向けた取り組みが進んでいる。特に、被災者支援の充実、公共インフラの迅速な復旧、新庁舎の耐震・防災機能の強化が大きな成果。今後は、広域的な支援の仕組みを整備し災害に強い自治体運営を進める必要があるとのことであった。



《ゆるキャラを使った地域活性化及び情報発信について》

熊本県の認知度を向上させる為 関西や中国地方、特に大阪をターゲットとしたプロモーションの一環として「くまモン」が誕生した。ティザー広告を活用して公式ブログと旧ツイッター（現X）を開設し話題作りをした結果テレビや各新聞にも広く取り上げられるようになった。くまモンのイラストを無料で使用可能とする「楽市楽座方式」を導入し、県内外の事業者に開放することで多くの商品にくまモンイラストが使われるようになり熊本のブランド力が向上した。



大阪府町村議会議長会「定例総会」

開催日時：令和7年3月3日（月）

場 所：大阪府新別館南館

日 程：(1) 表彰

全国町村議会議長会

自治功労者表彰（伝達）

(2) 議事

①議案第6号

令和6年度大阪府町村議会議長会

一般会計補正予算について

②議案第7号

令和7年度大阪府町村議会議長会

一般会計歳入歳出予算について



令和6年度 大阪府南部地区議会議員セミナー

開催日時：令和7年1月27日（月）

場 所：熊取町文化ホール キターネホール

参 加 者：大阪府南部地区

（田尻町、熊取町、岬町、忠岡町）

各議会議員及び議会事務局職員

テ ー マ：「町村議会議員のなり手不足問題を考える」

講 師：東北大学大学院 准教授 河村 和徳 氏

「地方議員の定数を減らすべきという政治学者がいるが、民主主義を研究している学者はそうではないと考える。議会は、住民の縮図であり本来直接参加、それが難しい為代表を選んでいる。定数削減は住民の声が届く確率が下がる。一方、なり手不足の要因である待遇に関わる障壁（報酬・年金・選挙制度の不備）をなくす努力が必要である。」以上のような内容であった。我々は、これらの議会の実態を住民に知ってもらう努力をし続けねばならないと改めて感じた。



議会映像インターネット配信について

3月議会より町議会の映像をインターネット配信で視聴が出来るようになりました。

なお、視聴できる内容については一般質問のみとなります。

QRコードよりご覧ください。



※議会映像は議会開催日より約1週間程度でアップロードされます。

編集後記

もうすぐ4月で桜の季節になりますが、寒暖差が大きく、花粉も西日本では昨年よりも多く飛散し、黄砂の飛来も観測されています。行動しやすい時期ですが、少し心配ではあります。大阪万博もいよいよ開催されます。無事故、大成功を願います。そして、子どもたちにとって素晴らしい思い出となり未来に繋がると良いと思います。

忠岡町議会広報委員会